

ふれあいと対話が築く明るい社会 (第47回社会を明るくする運動強調月間)			
久が原地区管内	男	11,948人	
	女	12,025人	
人口	計	23,973人	
世帯	10,349世帯		
平成9年6月1日現在			



発行：わがまち大田久が原地区
推進委員会
編集委員：「くがはら」編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146大田区久が原2-19-3
(3752) 4271

第47回社会を明るくする運動

ふれあいと対話が築く明るい社会



第二京浜国道に沿った久が原五丁目の台地で、遺跡の発掘が行われています。グリーンハイットという団地がありましたが、建て替え工事にもなう記録保存のための発掘調査が7月末まで行われる予定です。4月27日、大田区報に見学会の通知がでたので出かけた

特別寄稿

弥生の村に思いをはせて

今年もまた「非行やいじめのない明るい社会」を目指して、7月いっばい、それぞれの関係行事が展開されております。この運動は犯罪や非行からの立直りに対し、地域の方々に理解と協力を呼びかけるために、昭和26年から法務省の主催により全国規模でスタートしました。今では行政と地域が一体となって運動を展開しております。今年もまた「非行やいじめのない明るい社会」を目指して、7月いっばい、それぞれの関係行事が展開されております。この運動は犯罪や非行からの立直りに対し、地域の方々に理解と協力を呼びかけるために、昭和26年から法務省の主催により全国規模でスタートしました。今では行政と地域が一体となって運動を展開しております。

今年度の運動の主なものは次のとおりです。

- ① 駅頭広報活動
7月1日(火)午前8時～11時
R大森駅・蒲田駅・京急線主要駅、空港線駅、東急線雪が谷大塚駅等、駅頭に於けるPR活動。
- ② 大田区中央大会
7月9日(水)午後1時～大田区民プラザ(東急線下丸子駅前)
- ③ 地域対話(三)集会
中学生の意見発表 馬込東中、大森第八中、大森第三中
- ④ 社明映画の上映
三集会等で上映希望の方に、保護司会で貸出しております。

等により、地域毎に皆さんと意見交換を行っております。

ところ、次々と訪れる方が列をなしていました。南東に面した台地の上には発掘の結果、出土した弥生時代の住居跡が重なりあっていました。また、台地の崖面に横穴を掘った墓の入り口の石組も見ることができました。黒山のような人だかりの間から出土した土器や石器、旧石器時代の石片も見ることができました。

久が原は、戦前から弥生時代後期(三、四世紀)を中心とした遺跡で知られ、久が原式土器は弥生時代後期の標準とされています。久が原の遺跡が確認され、壊れてしまった部分を含めると発掘範囲の中で130軒ほどが推定されています。

住居の数は一千戸を越えるといわれています。久が原の歴史がもっと身近になるのではないのでしょうか。

大坪 庄吾 (大田区郷土の会会員)



④社明映画の上映
三集会等で上映希望の方に、保護司会で貸出しております。

- △4月1日付
○大森第十中学校校長 (新) 岩浅 充
(旧) 原田 順弘
- △4月1日付
○大森第十中学校PTA会長 (新) 志田 晴彦
(旧) 上野 義之

人事異動

- 田園調布消防署 久原出張所所長 (新) 藤井 武
(旧) 桑林 芳聖
- △4月19日付
○道々橋自治会会長 (新) 石井 敬治
(旧) 醍醐 佳男

提言

〜リサイクル問題を考える〜

環境問題を扱った本が多数出版されているが、その中でも久が原地区は百パーセント地区となった。ペットボトルやプラスチック、牛乳パックを回収するストーパ1が久が原地区には増えている。買い物ついでにそれらのものを家から運ぶ人たちが、ずいぶん多く見かけるようになってきた。

資源ゴミ回収で更なる発展が望まれるのは、古紙の回収である。大田区役所リサイクル課の鎌田弘子課長によれば、名刺のサイズ以上であればリサイクル可能だという。思うのだが、読み終わった新聞は新聞社に、雑誌は雑誌社に引き取ってもらったらどうだろう。流通の元締めである東販や日販にも、努力してもらいたいものだ。

生ゴミを堆肥に変えるという、地道なリサイクル運動を展開している八王子市や栃木県野木町のような先駆者もいるのだから、23区内でも、可燃ゴミの日を一日割ってリサイクルの日にする計画が検討されていると聞く。大賛成である。

(磯田良江)

- ▽平成9年度自治会役員
永年在職者感謝状
野口 金治 (東自治会)
豊田 二郎 (東自治会)
篠澤 忠一 (西自治会)
西尾 泰祐 (西自治会)
深澤 正江 (南自治会)
- ▽平成9年度大田区交通安全功労者表彰
小川 博 (西自治会)
三木 真次 (道々橋自治会)
- 藤田 好子 (南自治会)
直井 武寛 (道々橋自治会)
古谷 茂雄 (道々橋自治会)

受賞おめでとうございます

第46回大田区子どもガーデンパーティー

大盛會裏に終わる

空は見事に晴れ渡り、緑の上風が清々しく吹きそよいだ4月27日、例年にないだ勢の参会者を地えた洗足池会場、真鯉緋鯉の元気に泳ぐ下で、



大田っ子の曲に合わせ、来賓の方々も一緒に、元氣な体操が始まりました。桜山でのアスレチック、PTA担当の手作りコトナームに加えて、消防署、警察署、大田区防災課、更に地域郵便局からの協力参加もあり、盛り沢山のプログラムとなりました。

昼休みには大田区50周年記念植樹も行われ、都立雪谷高校のチアリーダーや大森六中と赤松小の合同による80名から成る演奏も、参会者から成る演奏も、前回は午後の9月28日(日)に久原小学校庭で開かれます。前回までは午前中に終わっていましたが、今年からは午後まで時間を伸ばすことが、決まりました。種目、アトラクションなどは実行委員会が検討しています。カ月にわたる準備期間の苦勞もいつべんに吹き飛ばす思いでした。

「大森十中」創立五十周年を迎えて

昭和22年、新しい学制がスタートし、3月に大森十中の開校が認可されましたが、校舎はなく、久原小学校で5月3日に開校式。5月5日から2教室を借りて、一部式の授業が始まりました。6月10日からは都立大森高校の4教室も借りて、やっと一部の授業になったそうです。昭和23年に校舎建設が始まり、24年3月に落成し、本校舎に移転。翌25年3月に第一回卒業式が挙行され、216名の第一期生が卒業いたしました(第一期生は現在62歳です。地域でご活躍の方々も多

当時の記録を読みますと、初代の小山田校長先生をはじめ、地域・後援会(現在のPTA)の方々の計り知れないご苦労ご努力があったように思います。

その後、校舎の増改築。図書室、記念館、プール、コンピュータ教室等が整備され、平成6年に体育館とプールの改築が完成し、現在に至っております。

本年創立五十周年を迎えました。11月15日(土)には、記念式典と記念祝賀会を開催いたします。これからも地域から愛され信頼される学校として、教育活動を推進してまいります。今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。(大森十中学校長 岩浅 充)

EVENT 情報

きらら祭

久が原福祉園で催される年一回のお祭です。楽しい企画を用意しています。ぜひお越し下さい。

【月日】 7月20日(日)

【時間・内容】

★第一部 午後2時～6時
園の活動紹介、バザー、アトランクション、縁日、レストラン、喫茶、模擬店など。

★第二部 午後6時～7時
盆踊りなど。

※フリースペースはありませぬ。

【問合せ先・会場】

久が原福祉園及び道々橋のぞみ児童公園

【電話】 5748-0251

【FAX】 5748-0253

早朝ラジオ体操の会

【場所】 松仙小学校 校庭

【期間】 7月21日～30日

【場所】 久原小学校 校庭

【期間】 7月22日～31日

※時間はいつでも午前6時30分より。お子様に負けず、皆様お揃いでご参加ください。

テント生活・飯炊さん・キャンプアナイヤー

【場所】 平和島キャンプ場

【時間】 8月23・24日

※かわいいいお子様に野外体験を!! きっとかけがえない、よい思い出になります。詳細はポスター、チラシでお知らせいたします。

委員会からのお知らせ

「清潔で美しい大田区をつくり審議成立し、先月6月1日から施行されました。この条例は、大田区における環境美化を促進するため、区と区民、事業者、団体が相互に協力し、それぞれが自らの責務を果たすことにより、市民の生活環境の向上を図ることを目的としています。

そこで次に区民が果たすべき責務について述べてみます。(1)犬のフンは、飼い主が必ず始末する。

(2)タバコの吸い殻、空き缶等のポイ捨てはやめる。

(3)居住地や所有地及びその周辺に廃棄物を長時間推積したり、空地に雑草等を繁茂させ、環境上不良状態にしない。

清潔で美しいまちをつくるのは、ひとりひとりのまちへの思いやりの心です。マナーを守り、近隣の人たちへの心配りの気持ちを持って、自分

ができること、すべきことを考えてみましょう。

問合せ先 環境保全課
電話 三七七三五六七一

編集後記

いま、まちは豊かな緑に包まれ、活気に満ちております。この7月は、犯罪や非行のないまちづくりを目指し「社会を明るくする運動」が展開されております。

情報紙「くがはら」も、さらに地域の皆様のご期待に添えよう、編集に工夫を重ねてまいります。

皆様からの情報も号を追う毎に増えておりますが、催しやニュース、さらにご希望などもお寄せ下さいますようお願い致します。(かわまた)



出世観音 風船供養と庚申祭

【風船供養】 3月23日に開催された風船供養は、家族の健康と安全祈願、先祖を敬う祭典です。各家の先祖の戒名を短冊に書き、安祥寺の小島上人により荘厳な供養がなされ、その後短冊は風船に託され、大空に放たれました。【庚申祭】 守庚申(まもるこうしん)は平安時代に日本に伝わり、室町時代ごろから庶民の間に普及した道祖神と習合して、庚申塔が村の入口や辻に、道標として祀られるようになった。久が原2丁目(野村証券寮入口左側)に祀られている庚申塔は、1677年に建立されたものでしょうか? 家人は捨得物として交番に届けました。

寒い季節に小鳥の餌を置くようになって、十年以上もたつてでしょうか。ミカン、ヒヨドリ、メジロ、シジュウカラ、ウグイス、ムクドリ、カラヒト、キジバトその他数種類の小鳥が入れ替り立ち替りやっています。

自然界に餌が豊富な花の季節になったので、そろそろ餌を出すのをやめようかなど思っていたら、十円玉があるのをみつけました。二ヶ月位前にもこんなことがあり、これが二度目で、時々石ころが二つ三つ転がっていることから考え、今日もたくさん的小鳥達に楽しんでほしいので、もう暫く餌の提供を続けることにしました。



随筆 義理堅い小鳥たち

「小鳥が餌代を払っているんだよ。贈り主がはつきりしているから頂いていいんじゃないの」と申します。私は餌代なんていいから、ウグイスのように一声でも多くいい声で鳴いてくれればいいのよ、と鳥達に伝えたい気持ですが、折角お支払いいただいたので、もう珍しく雨続きの週末で、

今日もたくさん的小鳥達に楽しんでほしいので、もう暫く餌の提供を続けることにしました。が、わが家の庭に訪れているのでしようか? 家人は捨得物として交番に届けました。